

大野城市の発展につくした人

1 学習のねらい

牛頸用水路を開いて地域の発展に尽くした森山庄太の働きを調べ、先人の工夫や努力により、地域の人々の生活が向上したことを考えることができるようにする。

2 単元の概要

水路が作られる前と後の様子を比較することで、森山庄太の働きに興味・関心をもつ。森山庄太の足跡や当時の様子等を調べることで、水路づくりの工夫や苦勞に気付かせる。最後に学習した内容を新聞にまとめさせる。

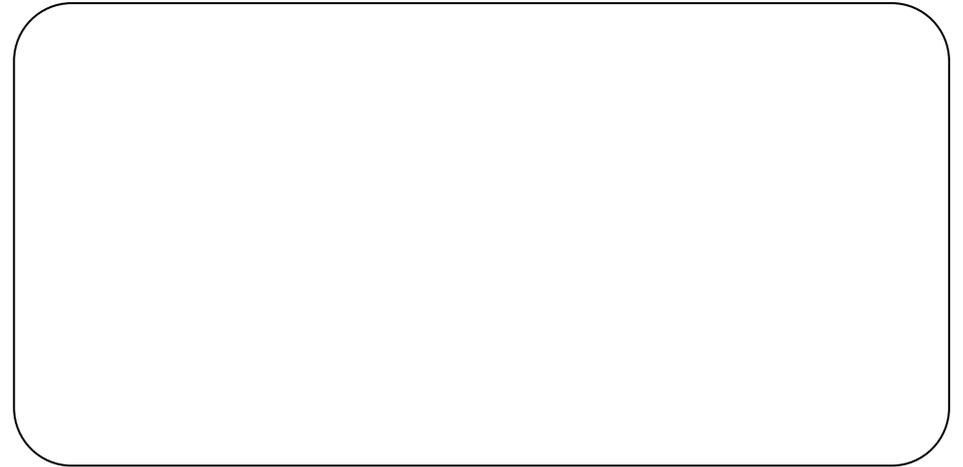
3 指導計画（12時間）

学習活動	指導支援上の留意点	時間
水路が作られる前と後の様子を比較し、学習問題をつくる。	地図や写真、統計資料などを使って、水路が作られる前と後の様子を比較し、変化したところや変化した原因について考えさせる。 ・水路が作られる前の写真と現在の地図や写真 ・米の生産量や耕地面積	1
副読本や大野城市心のふるさと館、図書館、郷土資料を活用し、森山庄太について調べ、まとめる。	森山庄太が中心となって作った牛頸用水路について調べさせる。 ・場所やつくり ・当時の生活の様子 ・作られ方、作業道具 ・期間、費用、人数 ・作るときの工夫や努力	7
牛頸用水路ができるまでを新聞にまとめることができる。	学習したことをもとに、牛頸用水路や森山庄太について分かったことや考えたことを新聞にまとめさせる。 ・現在の生活が先人の工夫や努力によって成り立っていることに気付かせる。	4

4 学習展開例（3時間）

学習活動	指導支援上の留意点	展示活用
1. 見学のめあてを確認し、見学の見通しをもつ。		
牛頸用水路が作られた理由や仕組み、森山庄太について調べよう。		
2. 職員の説明を聞いて、水路の作られた理由・しくみ・森山庄太などについて知る。	○展示やプレゼンテーションをもとにして、説明を聞くことで、視覚的に理解しやすくする。 ・当時の生活 ・地形の問題（高低差） について知り、水路を作ることが当時の生活に必要な不可欠であったことと作るには大きな困難を伴うことを理解させる。 ○職員やガイドボランティアの説明を聞いて、道具の使い方や工夫点に気付かせる。	○プレゼンテーション
3. 石碑やため池等を見学する。 (ふるさと館の場合) 石碑の拓本・画像、ため池・水路の画像を見ながら、職員の説明を聞く。	○職員やガイドボランティアの説明を聞いて、道具の使い方や工夫点に気付かせる。 ○水路を作ったころの道具を見て、さわって、当時の人々のくらし、現在との違いについて考えさせることで、当時の人々の工夫や苦勞に気付かせる。 ○体験や対話を通して、当時の人々の生活を想像させ、苦勞や工夫などに気付かせる。	○水路と同じサイズのトンネル ○当時の道具 ・くわ ・平ぐわ
Aグループ 道具の使用体験 ↓ 職員の説明		
Bグループ 職員の説明 ↓ 道具の使用体験		
3. 見学や体験を通して考えたことをまとめる	○分かったことや感じたことを交流させるとともに、疑問に思ったことを職員やガイドボランティアに質問し、理解を深めることができるようにする。	○測量体験キット

1. 見学して分かったことをメモにとりましょう。



2. 今日の学習で分かったこと、感じたこと、ぎ問に思ったことを書きましょう。

